

蘆花記念公園グランドデザインプロジェクト（長柄桜山古墳群を含む）
第三回ワークショップの概要

- 日時 令和6年8月17日（土）9時30分～11時50分
- 市民の参加者 31名



1. 行政からの説明（9時30分～10時）

過去2回のワークショップを経てグランドデザインの案を作成したため、その内容と今後のスケジュールについて説明を行いました。

（グランドデザインの位置付け）

- 利活用の可能性を示すもの
- 事業化を決定したものではなく、今後、法令上の精査や民間企業の参画の可能性、持続性、費用対効果等を調査したうえで事業化につなげていく
- 防災対応は優先して行っていく可能性あり
- 具体化しそうな場合は、あらためて市民に説明する

（今後のスケジュール）

- 市民説明会（決定） 10月5日（土）9時30分～11時30分
- パブリックコメント（予定） 11月8日（金）～12月6日（金）
- 民間事業者の参画の可能性を探るサウンディング型市場調査の実施や補助金、企業版ふるさと納税の獲得などの検討を適宜行っていく

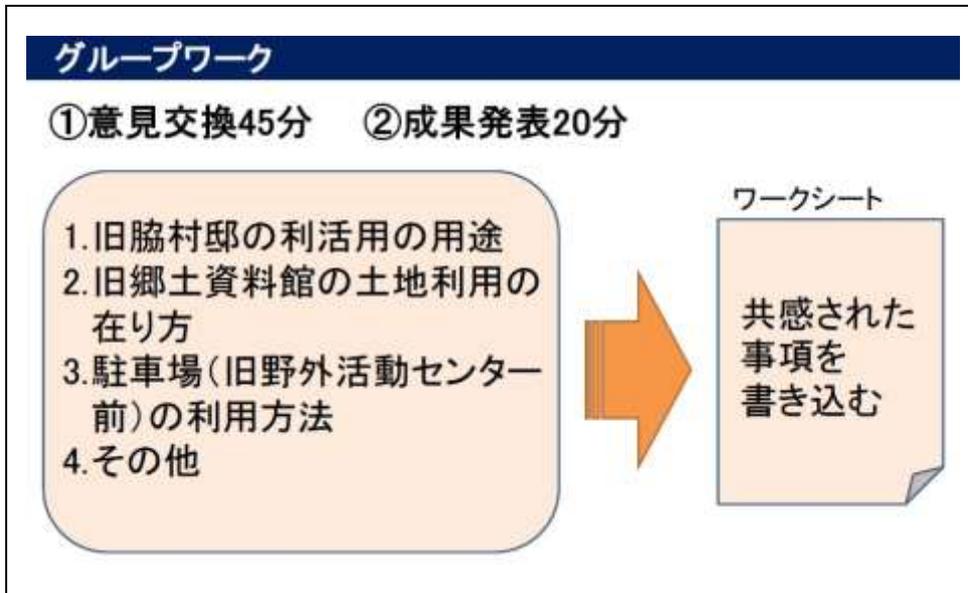
エリアマップとゾーニング



2. グループワーク（10時～11時）

①意見交換（45分間） ②成果発表（20分間）

2回のワークショップを経て方向性の共通認識はおおむね図られてきましたが、今回は、行政としてもう少し掘り下げたほうが良いと感じた3項目にポイントを絞り5グループに分かれて話し合っていました。



3. 全体でディスカッション（11時10分～11時50分）

グループワークの成果をホワイトボードに貼り出し、それを元にディスカッションを行いました。おおむね共感された主なポイントは下記のとおりです。

1. 旧脇村邸の利活用の用途
 - ・近隣住民の住環境に配慮すると宿泊施設は難しい
2. 旧郷土資料館の土地利用の在り方
 - ・減築してでも本館を残したい
 - ・活用にあたっては「旧郷土資料館」という呼び方を変えるべき
3. 駐車場（旧野外活動センター前）の利用方法
 - ・不特定の利用者（観光客）の駐車は避けたい。障がい者、施設運営者、予約利用者は台数を限定して駐車することは許容できる
 - ・一般車の駐車はできない旨の案内表示を目立つように設置してほしい
 - ・公園内の別の場所（旧脇村邸方面から郷土資料館に向かう途中の原っぱ）に駐車場を整備できないか
4. その他
 - ・民間事業者が出資して整備・運営することが前提となっているが、歴史的に価値のある建物等は行政として維持管理の責務がある